

令和5年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	大月市七保町瀬戸	地区名	国道139号 (下瀬戸工区)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	----------	-----	----------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H26~R1	H26~R5	H26~R8
総事業費	900 百万円	990 百万円	990 百万円

(1) 事業の概要

① 事業目的及び効果

国道139号は、静岡県富士市を起点とし、東京都奥多摩町に至る幹線道路であり、大月市から県境にかけ第2次緊急輸送道路に指定されている。しかし大月市内では約6.0kmが未整備となっており、特に賑岡町畑倉～七保町瀬戸地内は、幅員狭小で道路線形も悪く、大型車のすれ違いができないなど交通の隘路となっている。

□主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上
 道路改良率：59.3% (H25現況表) < 64.0%未滿 ※
 混雑時走行速度：20km/h (H26.2実測) < 30km/h以下 ※
 ※評価基準値

□副次目標 ○災害に強い道路の確保

□副次効果 ○アクセス機能の維持
 (通行止めによる迂回に2倍以上の時間が必要となる道路)

② 事業概要

道路改良 L=400m W=5.5(9.5)m

③ 全体計画

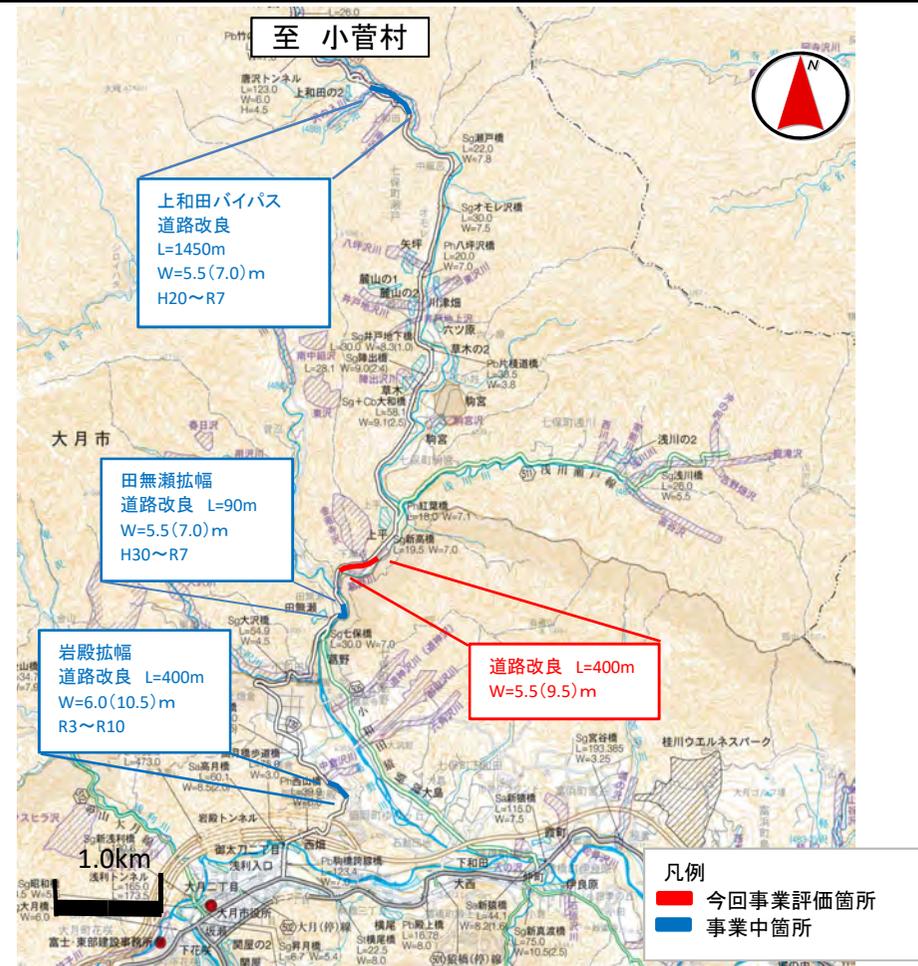
		令和4年度まで	令和5年度 (評価実施年度)	令和6年度以降
現計画	工事内容	測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事 橋梁工事	道路改良工事 道路台帳整備	
	事業費	900 百万円	90 百万円	
変更計画	工事内容	測量及び調査設計 用地取得・補償 道路改良工事	道路改良工事	橋梁工事 道路改良工事 道路台帳整備
	事業費	500 百万円	100 百万円	390 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④ 特記事項 (関連事業概要等)
 ・上和田バイパス 道路改良 L=1450m W=5.5 (7.0) m
 ・田無瀬拡幅 道路改良 L=90m W=5.5 (7.0) m
 ・岩殿拡幅 道路改良 L=400m W=6.0 (10.5) m

⑤ これまでの評価状況
 なし

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

下瀬戸地区道路整備促進連絡協議会より早期完成を要望されている。

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

山梨県総合計画（令和元年12月策定）

山梨県強靱化計画（令和2年3月改訂）

山梨県社会資本整備重点計画（第四次）（令和4年9月改定）

山梨県広域道路交通計画（令和3年3月策定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		900	百万円	990	百万円
工期		H26~R1		H26~R8	
評価基準年		H26		R5	
経済 効 率 性	費用	760	百万円	1,026	百万円
	建設費	720	百万円	974	百万円
	維持管理費	40	百万円	52	百万円
	その他(百万円		百万円
	便益	2,480	百万円	2,566	百万円
	走行時間短縮	2,080	百万円	2,378	百万円
	走行経費減少	390	百万円	136	百万円
	交通事故減少	10	百万円	3	百万円
	その他※		百万円	49	百万円
	B/C		3.3		2.5

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益
費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

（3）これまでの計画変更等の概要

一部の地権者より事業の理解が得られず、地元調整に不測の日数を要したことにより計画期間を4年延長し、令和5年度までとした。

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R5年度進捗率(現計画)100%→(実績)66.3%→(変更計画)60.2%

②進捗率実績が計画と相違している理由
計画による一部地権者の同意に不測の日数を要したため期間が延長となった。また、地質調査の結果により支持地盤層が変更となり、橋梁基礎工の変更による事業費の増加となった。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
	百万円 増減	
	百万円 増減	
合計	百万円	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
計画による一部地権者の同意に不測の日数を要したため期間が延長となった。継続して用地交渉をおこなったところ、すべての地権者から計画の同意を得られ、令和5年度には、用地取得が完了する見込みであることから、順次工事を実施し、令和8年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
効率的な工事の実施を行い、事業の進捗に努める。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続 **見直し**継続・その他()

(理由)
一部地権者の同意に不測の日数を要したが、継続的に交渉を行い用地取得の完了が見込めることから、今後も引き続き事業進捗を図るべく、工事の実施に努め、整備効果が発現できるよう、変更計画に基づき、令和8年の完成を予定している。

○別表-進捗率(事業費ベース)

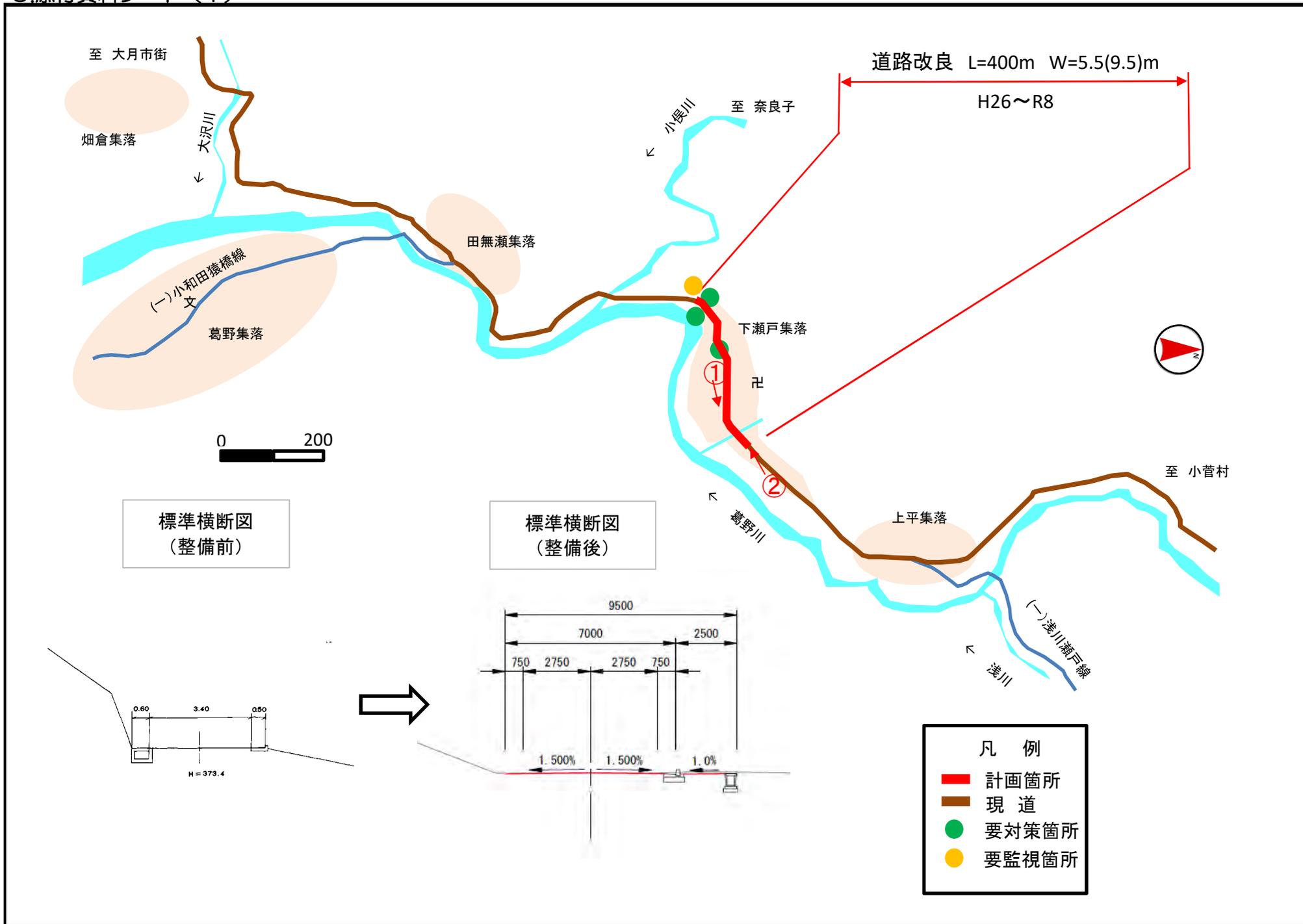
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	*R5	R6	R7	R8				
現	計画	2.2	13.3	24.4	35.6	46.7	57.8	68.9	80	91	100							
	実績	1.8	10.1	14.8	19	30.2	34.3	36.7	40.2	55.2	66.3							
	変更計画										60.2	79.4	89.5	100				

*事業着手年度又は評価年度

*R5年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)



3. 添付資料シート (2)



① 下瀬戸集落内 (幅員狭小・バスのすれ違い困難)



② 下瀬戸集落内 (幅員狭小・線形不良)



① 下瀬戸集落内 (一部改良済み)



② 下瀬戸集落内 (一部改良済み)

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H26	16,578	用地測量 用地補償	1.8
H27	74,318	用地補償	10.1
H28	42,454	用地補償	14.8
H29	37,672	擁壁工詳細設計 用地補償	19.0
H30	100,424	道路改良工事 建物調査 用地補償	30.2
R1	37,565	道路改良工事 用地調査 用地補償	34.3
R2	20,891	道路詳細設計 用地調査 用地補償	36.7
R3	31,656	道路詳細設計 用地調査 用地補償	40.2
R4	134,850	用地補償	55.2
R5	100,000	道路改良工事	60.2
R6	190,000	橋梁工事	79.4
R7	100,000	橋梁工事 道路改良工事	89.5
R8	103,592	道路改良工事	100.0
合計	990,000		